

# 正福寺報

平成 29 年お盆号

臨濟宗 円覚寺派  
住職 松原 行樹  
TEL 045-811-3800  
FAX 045-811-6304  
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

生きている是れさいわいなり

お釈迦様のお言葉に次のようなものがあります。

世に母あるは

さいわいなり

父あるも また

さいわいなり

世に道を求むるものあるは

さいわいなり 『法句経三三二』

お釈迦さまの生母マーヤー夫人

はお釈迦さまを産んで七日後に亡

くなりました。

祖父・泰道和尚もまた、生母と死

に別れました。百歳の誕生日を迎え

たとき、今一番何がしたいですかと

問われたときの第一声が、「お母さ

んに会いたいです」でした。

母とは、夫や義理の両親、家族の

こと、そして炊事洗濯に追われなが

ら、自分の時間を犠牲にしても子

どものことを考えてくれる。そして

子どもの顔色や姿、心を自分の眼で

直接触れるように接してくれる、そんな存在です。

さらにお釈迦さまは、「父あるも

またさいわいなり」と仰せです。

私は父を七年前に亡くしました。

一茶の句に、「うたたねも 叱り

手のなき 寒さかな」とあるように、

時には些細なことでも叱られて煩わ

しいと感じたこともありましたが、叱

つてくれる父親がいらないことは何

とも寂しいものです。

自分がこの世に誕生していなけ

れば、これまで経験してきたことは

無かったこととなります。そう考え

ると、生きていくということは何と

幸せなことでしょうか。

ご両親がご存命であれば感謝の

気持ちをお伝え、他界していれば感謝

の心で手を合わせる。その心をして

ままに、過ぎ行く毎日を大切にしてい

いくことが「道を求める」というこ

とではないでしょうか。

生きていくこと誠にさいわいなり。